

令和6年度未来へつなぐキャリア教育推進事業
外国人生徒キャリアサポート事業「就職・進学セミナー」実施報告書

令和7年2月吉日
NPO法人 愛伝舎

1. 目的

外国人生徒及び保護者が、日本の社会の状況、学校制度や働き方について理解を深め、将来の生活を見通して進路を選択するための機会を創出する。

2. 実施内容

「未来につながるキャリアを考えよう！高校卒業後からの生き方について」を議題として、就職に関しては働き方・生涯賃金・社会保障・在留資格について説明を行いました。日本の人手不足がより深刻・顕在化しており、高校卒業後も定住していく生徒には、正規雇用に就いて安定して働くための準備を考えて欲しいと考えています。就職を考える際には正規雇用と非正規雇用の違いによる、社会保障、生涯賃金、年収の違いを理解するように、厚労省で発表された身分に基づく在留資格と一般労働者の年収比較を示し、具体的な数字で待遇の違いを紹介しました。また進学については、自分の目標を見つけて進路を決めること、また進学に必要な費用（入学金と学費）や、奨学金についての情報を届け、1年生のうちから準備をしていく必要性を説明しました。自動車整備士の専門学校、保育士の奨学金、大学説明会についても紹介しました。今年度は、3校での開催になりました。高校卒業後に、大学進学をしたり、正規雇用で働いている人が増えてきて、ロールモデルとして話をしてくれる先輩の活躍ぶりが良い影響を与えてくれています。正規雇用で安定した働き方をしていくというイメージが、少しずつ浸透しているように思います。

3. 実施報告

学 校 名	三重県立飯野高等学校 会議室 英語コミュニケーション科 1年生全員 73名
所 在 地	三重県鈴鹿市三日市 1696
実 施 日	令和6年10月3日(水) 13:50~15:15
卒 業 生	<ul style="list-style-type: none"> ● 林マツミさん(2016年度卒業)四日市市社会福祉協議会 ● ラーマニ マルジャネさん(2021年度卒業)京都外国語大学 ● 原田来夢さん(2020年度卒業)株式会社キオクシア ● コスタ チャーリーさん(2020年度卒業)Honda Cars 三重
当 日 の 様 子	<p>高校卒業後に就職した卒業生2名と、大学進学した卒業生2名に講師として来てもらいました。4人のうち3人は、前年度も講師をしていて、後輩に伝えたいことを明確に伝えてくれました。4人とも高校在学中から、日本語の習得、人とのコミュニケーションの取り方で意識していたことや、のびのびと学校生活を送り、自分の進路を切り開いている姿を伝えてくれました。就職後、自動車整備士の3級の資格を取得し、2級を目指している事や、英語力が仕事で発揮されている事、地域の外国人住人に寄り添い、役に立っていることなど多言語、多文化的な強みを自信に変えて活躍する卒業生の存在は、高校生たちを大いに力づけ、希望を与えてくれたと思います。</p> <p>飯野高校で学ぶ生徒の魅力が発揮され、学校の多様性が感じられるセミナーになっていると思います。</p>



飯野高校で長年キャリア教育をやらせていただいたことで、他の事業にも繋がりました。アメリカの南カリフォルニア三重県人会から愛伝舎が寄付をいただき、その寄付金をもとに飯野高校の生徒たちと伊勢神宮、関宿、熊野古道を発信する YOUTUBE 動画を、英語、スペイン語、ポルトガル語で作成しました。

[Aidensha NPO 愛伝舎 - YouTube](#)

令和6年10月に東京で開催された第64回海外日系人世界大会の国際シンポジウムに、坂本が登壇しこの動画も紹介しました。また大会3日目には飯野高校のブラジル人生徒3名が登壇し、「在日日系人スピーチ」で発表をしました。多様な国政の生徒が学ぶ飯野高校について、今岡校長より紹介もあり、各国の日系社会に飯野高校を知ってもらうことができました。



学 校 名	三重県立みえ夢学園高等学校 生徒 20 名・保護者 1名
所 在 地	三重県津市柳山津興 1239
実 施 日	令和6年 12月 16日(月) 13:30～15:00
卒 業 生	● 大山 ジェシカさん(三重県立久居高等学校教諭) ● 原田 来夢さん(株式会社キオクシア)
当 日 の 様 子	<p>始めに、近年の在日外国人の増加とそれに伴い社会で活躍する外国人が増えていることを紹介しました。その後資料に沿って正規雇用と非正規雇用の違い、社会保険、進学について等の説明をし、その後お二人の先輩にご登壇いただきお話を伺いました。原田さんは、英語を活かして県内企業で活躍されていますが、現在は後輩を育成する立場もあります。何事に対しても頑張ることの大切さと、日本語学習の重要性を熱く語ってくださいました。大山さんは、教員免許を取得し現在教員として勤務されており、自らが外国にルーツを持つ1人として社会で活躍し、多様性を受け入れる社会づくりに貢献したいという強い思いを語ってくださいました。お二人とも、ご自身の経験から、外国にルーツがあり、複数言語ができるという「強み」を活かすことでき社会に活躍することができること、そのために高校時代に頑張るべきことを考え、頑張ってほしいという強いメッセージを送ってくださいました。</p> <p>生徒からは、先輩方に対して、現在の業務内容や雇用条件(休暇、給料、ボーナス等)、やりがい、今後やってみたい業務などについて具体的な質問が多く出ていました。特にフィリピンの生徒たちは同国の先輩の活躍が嬉しかったようで、とても興味深そうに聞いていたのが印象的でした。多くの質問が出る中、和やかな雰囲気で会を終えました。</p> 

学 校 名	三重県立松阪工業高等学校 定時制 生徒 25 名
所 在 地	三重県松阪市殿町1417
実 施 日	令和6年 12月 19日(木) 17:45~19:15
卒 業 生	● ポールさん(松阪工業高校卒業生) ● ジョシアさん(松阪工業高校卒業生)
当 日 の 様 子	<p>松阪工業高校では初めての開催でしたが、多くの生徒と先生方の参加がありました。正規雇用と非正規雇用の違いについて説明し、2人の卒業生に高校生活の過ごし方、高校の時にやっておいてよかったこと、就職する前に心配だったこと、仕事のやりがい、日本語の勉強についてのアドバイス、将来の目標についてなどインタビュー形式で話してもらいました。定時制高校なので、仕事の後の参加でしたが多くの参加があり、熱心に聞いてもらいました。卒業生も、楽しく仕事をしている様子が生徒たちにも良く伝わったようです。また先生方の参加が多いことがとても印象的でした。</p> 